

IRB番号「2023-GB-135」

## 研究課題名「Artificial intelligenceが内視鏡検診のダブルチェック機構に及ぼす影響の検討」

### 1. 研究の対象

2019年1月～2020年12月の間に当院健診センターで行われた上部消化管内視鏡検査を受けられた方のうち、翌年以降も少なくとも当院健診センターで上部消化管内視鏡検査が行われた方

### 2. 研究の目的・方法

対策型検診として内視鏡検診が広く行われているが、胃内視鏡検診の精度を一定以上の水準に保つために、対策型検診では検査医とは別の医師にてダブルチェックが義務付けられている。しかし、ダブルチェックによる見落としが減少する一方、ダブルチェックを担う医師の負担が増大するという側面もある。また、当院健診センターのような任意型検診ではダブルチェック機構が存在しないため、一層検査医の診断力や技術力に依存してしまうのが現状である。現在AIの研究が進んでおり、内視鏡検査にAIを併用することで胃癌拾い上げ診断・質的診断における上乘せ効果が報告されている。当院においても過去にAIメディカルサービス社と癌の検出及び質的診断のためのAIを作成し、AIの有用性に関する報告を行っている。そこで今回、当院健診センターで内視鏡検診として一定期間内に実際に行われた連続症例の全画像を用いて、AIにおけるダブルチェックの有用性を評価し、医師の負担軽減や見逃し症例の減少に貢献できる可能性を検討する。

### 3. 研究期間

承認日 ～ 2025年03月31日

### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究に用いる下記の試料・情報につきましては、倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、個人が特定されないように適切に匿名化処理を行った上で取り扱っています。

情報：電子カルテより以下を収集する。

- ① 臨床所見（年齢、性別、身長、体重、病歴に関する情報（除菌歴、診断名、既往歴、嗜好歴、家族歴）、臨床病期）
- ② 血液所見（抗H.pylori IgG抗体、CBC、白血球分画、生化学一般、腫瘍マーカー、凝固能）
- ③ 内視鏡画像、内視鏡所見、CT所見および転移検索結果
- ④ 病理所見
- ⑤ 尿素呼気試験
- ⑥ 治療（内視鏡手術、外科手術の方法、治療成績）
- ⑦ 予後

試料：なし

### お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。  
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人 がん研究会有明病院  
〒135-8550東京都江東区有明三丁目8番31号  
研究責任者 上部消化管内科 副医長 山本浩之

がん研究会 情報公開文書

単施設研究用

連絡先：電話番号03-3520-0111(代表) FAX番号03-3520-0141